

第70回兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技 兼 第75回全国高等学校柔道大会県予選大会 実施要項

○期 日

2026年6月5日(金)	第1日目	開会式	午前10時00分	女子個人試合公式計量	全階級(8時45分～9時15分)
				男子団体試合	1回戦～上位8校決定まで
				女子団体試合	1回戦～決勝戦終了まで
6日(土)	第2日目	開始式	午前10時00分	男子個人試合公式計量	全階級(8時45分～9時15分)
				女子個人試合、全階級	1回戦～決勝戦終了まで
				男子団体試合	準々決勝～決勝戦終了まで
7日(日)	第3日目	開始式	午前9時30分	男子個人試合、全階級	1回戦～決勝戦終了まで

○場 所 高砂市総合体育館 (JR宝殿駅下車南西徒歩15分)
高砂市米田町島 526 Tel: 079-432-9090

○参加資格

- 1 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- 2 選手は、兵庫県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、柔道競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。
- 3 今年度、兵庫県柔道連盟を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了したものとする。
- 4 平成19(2007)年4月2日以降に生まれたものとする。但し、同一競技の出場は3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、専門部が責任をもって調整・確認する。)大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- 5 チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- 6 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り、合同チームによる大会参加を認める。
- 7 転校・転籍後の6か月未満のものは、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、兵庫県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6か月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合には、そのルールに従った変更認める。
- 8 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在籍する学校の校長の承認を必要とする。
- 9 外国人留学生については、卒業を目的として入学をしていること。(短期留学は認めない。)
- 10 脳震盪の対応について、選手及び指導者は、つぎの事項を遵守すること。
 - ア 大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、医師から出場の許可を得ること。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、前の者は、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
 - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、医師から許可を得ること。
 - エ 当該選手の指導者は、大会事務局及び(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 11 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- 12 大会出場者は、有段者もしくはそれに準ずる技量を有する者とし、顧問の判断により参加させる。

- 13 選手は必ず開会式（開始式）に参加すること。参加しない場合は出場を認めない。
（地区予選も準ずる） 注）出場申込後の無断欠場は次の試合の出場を認めない。

○競技規則

- 1 国際柔道連盟試合審判規定、ならびに全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
- 2 「優勢勝ち」の判定基準
 - ア 団体試合は、「有効」又は「僅差」（「指導」差2）以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。
 - イ 個人試合は、「有効」又は「僅差」（「指導」差2）以上とする。試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦は「有効」以上があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で終了とする。
- 3 試合時間は、団体試合、個人試合ともに4分間とする。但し、ゴールデンスコア方式の延長戦は時間制限を設けない。

○競技方法

- 1 団体試合（男子・女子ともに点取り試合）
 - ア 試合はトーナメント戦を実施する。
 - イ トーナメント戦の勝敗決定は次による。
 - (1) 判定基準
※選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「有効」又は「僅差」以上とする。
※僅差は指導差2とする。
 - (2) 「技の内容」と「指導」の重み
※【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。
 - (3) 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定は次による。
 - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - (イ) (ア) で同等の場合は、「一本」による勝ち数が多いチームを勝ちとする。
※但し、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
 - (ウ) (イ) で同等の場合は、「技あり」による勝ち数が多いチームを勝ちとする。
 - (エ) (ウ) で同等の場合は、「有効」による勝ち数が多いチームを勝ちとする。
 - (オ) (エ) で同等の場合は、「僅差」による勝ち数が多い方チームを勝ちとする。
 - (カ) (オ) で同等の場合は、代表戦を行う。
※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
※代表戦の判定基準、実施方法は、「有効」又は「僅差」以上とし、試合終了時に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「有効」以上の得点、又は「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
※代表戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
※このことは、1回戦から決勝戦まで全ての試合において適用する。
- ウ 男子は選手5名、補欠1名、女子は選手3名、補欠1名とする。（全日制と定時制を混えない。外国人留学生は男女とも1名以内）
※男子は3名から5名でも良い。なお、3名もしくは4名の場合、エントリー時に後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける）とする。また、4名または5名でエントリーした場合の欠員は空位とし、後ろには詰めない。
※女子は2名で申込出場可。2名の場合の配列は、後ろ詰め（先鋒を空ける）とする。3名のエントリーで、途中で欠員が出た場合は、その個所を空位とする。ただし、対戦校も2名の場合は、先鋒を空位として後ろに詰め、2名の対戦を成立させる。その後の試合は、元の配列に戻す。
なお、試合開始後、負傷等で棄権し、出場選手が2名となる場合、棄権する選手は大会医師の診断を受けることを必要とする。

エ 選手の変更は、登録選手に事故のある場合に限り、1名のみ認める。但し、第1日目の開会式までに所定の選手変更用紙を提出すること。

2 個人試合

ア 試合は体重別試合とし、男子は100 kg超級・100 kg級・90 kg級・81 kg級・73 kg級・66 kg級・60 kg級の7区分、女子は78kg 超級・78 kg級・70 kg級・63 kg級・57 kg級・52 kg級・48 kg級の7区分とする。

イ 試合はトーナメント戦を実施する。

ウ 指導の累積により両者反則負けとなった場合は、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また延長戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

※このことは、1回戦から決勝戦まで全ての試合において適用する。

エ 男子の出場選手数は、100 kg超級・100 kg級・90 kg級は各地区より推薦。81 kg級は56名、73 kg級は64名、66 kg級は72名、60 kg級は80名とし、各地区の出場人員は各地区代表顧問と協議の結果決定する。

○参加料

1 男子団体試合	1校	12,000円、プログラム代	2,500円 (5部)	計14,500円
個人試合	1名	3,000円		
2 女子団体試合	1校	10,000円、プログラム代	1,500円 (3部)	計11,500円
個人試合	1名	3,000円		

○申込方法

団体試合…各校の顧問は所定の申込 Excel シートに入力。

① 入力した申込 Excel シート。

② プリントアウトした申込用紙に学校長印を押印の上、PDFにしたもの。

上記①、②を5月1日(金)17時まで、kt.hyogojudo@gmail.com までメール送付で申込みを完了すること。(男子は3名、女子は2名で申込可)

③ 原本は各校顧問で保管する。

《注意》期日に遅れた学校は一切受け付けない。

個人試合…各地区代表顧問が各地区大会の結果を入力したシートを5月1日(金)までに
滝川高校：田口幸二、及び白陵高校：松島宗平へ男・女一括申込をする。

○抽 選

- 1 個人試合については、5月8日(金)の各地区代表顧問会議にて実施する。
- 2 団体試合については、5月8日(金)の全県顧問会議にて実施する。

○注 意

- 1 試合当日、各校の顧問または監督、引率教員の付き添いのないチームの出場は認めない。
- 2 競技役員は開会式(開始式)の30分前に集合のこと。
- 3 各校顧問は、大会プログラム・マスコミ等への掲載、個人情報保護についての各選手の同意を得ること。
- 4 大会会場へは、公共交通機関を必ず利用すること。
- 5 計量については、両日とも8時15分~8時45分を非公式計量とし、8時45分~9時15分に公式計量を行う。※公式計量で計量器に乗れるのは、1回まで。
- 6 本大会についての問い合わせは、各地区代表顧問へ依頼する。

○備 考

- 1 本大会の男子団体試合、女子団体試合の優勝校は第75回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会に出場する権利を得る。

- 2 本大会の男子個人試合、女子個人試合の各階級優勝者は第75回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会に出場する権利を得る。
- 3 本大会男女個人戦の上位者は、令和8年6月20日（土）に開催される令和8年度兵庫県柔道体重別選手権大会に出場する選手選考を兼ねる。男子は60kg級（16名）・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級（各8名）・100kg級・100kg超級（各16名）とする。女子は48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級、78kg級、78kg超級（各8名）とする。男女とも各階級上位4名は無差別への階級変更を可とする。また、女子57kg級の選手は63kg級に階級変更を可とする。ただし、人員に不足が生じた区分の選手補充は行わない。